

子どもの笑顔はみんなの笑顔

3年4組22番 仲尾 実結

1. はじめに

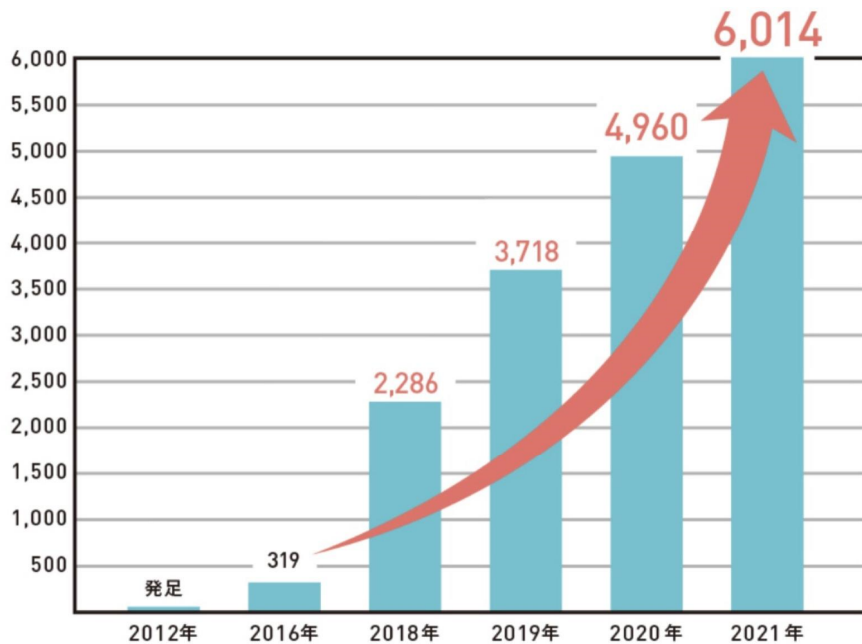
私は高校2年の3月から始めた子ども食堂のボランティア活動を行っています。第1章で子ども食堂が急速に、全国的に広まった経緯について述べます。そして子ども食堂がどのようなイメージを持たれているのか、そのイメージを変える為に私自身ができることについて述べます。第2章で、「ニコニコ食堂」が行っている活動、その活動を通してどのような変化があったのかについて述べます。第3章で、今後の課題を述べてまとめとします。

2. 序論

私は小さい子どもが好きで、なおかつ福祉にも興味がありました。私が18年間住んでいる奈良県の天理市という小さな市で子どもと関わりを持つ場所を探していると「ニコニコ食堂」という子ども食堂を見つけました。子どもとその両親、地域との関わり、SDGsを意識して行っている活動の3つの観点からボランティア活動を通して私自身の経験、見たもの、考えたことを振り返りながら、子ども食堂の本来の目的について考察しようと思います。そして、子ども食堂が今まで以上に子ども達・地域の人達に愛され続ける温かい居場所作りの為に私自身ができることを述べます。

3. 本論

皆さんは「子ども食堂」という言葉を聞いたことがありますか？「子ども食堂」を聞いたことがある人はそれがどのような場所なのかを知っていますか？農林水産省による子ども食堂の定義は子供1人でも行ける無料または低額の食堂であり、子どもへの食事提供から孤食の解消や食育、更には地域交流の場などの役割を果たしている場所です。「子どもの貧困対策」と「地域の交流拠点」という2つの活動が柱となっています。しかし、そんな子ども食堂ですが世間的には「恥ずかしい」、「お金に困っているのかな」「可哀想」などといったマイナスなイメージが根付いています。原因としては、マスコミやメディアがマイナスなイメージをテレビで言ってしまっていることが原因でもあります。しかし、このようなマイナスなイメージがあるのにも関わらず子ども食堂は年々増え続けています。子ども食堂が短期間で広がった理由としては2つあります。1つ目は政府が2009年に初めて相対貧困率を公表したことです。これによって、表面上は見えてこなかった貧困層の存在が社会的に認知されるようになったことが大きいです。2つ目は、日本の子供の貧困層が増加していることです。



認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

私は2022年3月から「ニコニコ食堂」でボランティア活動を行っています。この「ニコニコ食堂」の由来は利用する人がみんな笑顔になって欲しいからという思いで名付けられました。この「ニコニコ食堂」は、2018年の10月に立ち上げられました。立ち上げたきっかけとしては、長男を保育所の子供たちと一緒に遊ばせたかったというのが初めの理由です。立ち上げた当初は月に2・3回だった活動ですが今は多くのボランティアの方たちと一緒に活動されているので月20回ほど開催されています。去年は1ヶ月でだいたい1300食作られていました。多くのボランティア団体は、月に1回、できて週に1回という所が多いと思います。しかし、このニコニコ食堂はこのように沢山活動されています。

子ども食堂という場所は「食」というものを通して大きな地域コミュニティを形成しています。例えば、食事のことでストレスを感じてしまうお母さん、料理を作るのが苦手なお母さん。そんなお母さん達にも利用してもらえようなどとても温かい場所です。コロナ禍で、会食型の子ども食堂が出来なくなったことから配色型に変えました。お母さんや子供たちに取りに来てもらう時に、沢山のお話をしたり相談に乗ったりしています。子ども食堂には「食育」というものにも重きを置いています。例えば、田植えをしたり、さつまいもや玉ねぎ、枝豆、ほうれん草、イチゴなどを子供たちに収穫をさせて「食べ物」の有り難さを学ばせます。自分たちで収穫した野菜だからこそ、苦手だけど食べれた！自分で採ったから美味しかった！などとても素敵な思い出作りができる人気なイベントです。

Harvest experience (food education)



4 QUALITY EDUCATION



この「ニコニコ食堂」では、子ども食堂だけでなく子ども会も行われています。例えば、子供たちにボランティアの学生が勉強を教えたり、一緒にハロウィンパーティーやクリスマス会をしたりします。私も何度かイベントに参加しているうちに、企画してみたいと思い、七夕会を企画させてもらいました。子供の数は30人を超える大成功のイベントとなりました。0歳から12歳までととても幅広い年齢層の子供たちを楽しませるような企画はとても難しかったですが、私たち自身が楽しめば子供たちも自然に楽しんでくれることが身をもって体験することが出来ました。

4. 結論

子ども食堂の課題としては、食材、人材、資金の課題があります。

食材に関しては、ある時とない時があります。その時はフードバンクから貰ったり、近所の八百屋さんから貰ったりしています。代表者さんが、とりあえず動き出せば人や周り、空気が一緒に動いてくれる。そして、心を寄せてくれる人がいるからこそ継続できている部分があるとっていました。

スタッフに関しては、当初は長男の友達のお母さんたちと一緒にしていたけど、ニコニコ食堂を利用するお母さんたちから「私もお手伝いしてもいいですか？」と声をかけてくれるようになり成り立っているそうです。

お金に関しては、常に無いとっていました。助成金を申請すると一時的には大丈夫になるけど、ずっとお金もある訳では無いのでしんどいと言っていました。そして、欲しい時にお金がある訳でもないとも言っていました。お金は自然に回ってるというのが現実という風に言っていました。

私は、若者のニーズ、SNSの時代の今を考えてインスタグラムを使っただけの宣伝がとても効果的なのかなと実感しました。私自身もインスタグラムでニコニコ食堂の存在を知って、メッ

ページを送って、ボランティアをさせて頂いているのが現実です。若者から多くの人に発信して行けたら良いなと思います。

5. おわりに

私は国際高校に入学し、グローバル探究を通して3年間多くの学びを深めました。今まで18年間生きてきて、ボランティア活動に初めて自ら参加したり、多くの人前で自分の研究結果を発表したりと私にとって良い経験をたくさんしました。「ニコニコ食堂」と出逢ったことで私自身も子ども食堂に対しての偏見が無くなったり、もっと多くの人に活動内容を知ってもらいたいと思うようになったりしました。高校生の私ができることは限られていますが、大学4年間で子どもと福祉についてより学びを深め将来日本の子どもたちが笑顔に暮らせるような日本をつくるのに貢献したいなと考えました。

6.

1. 農林水産省「子ども食堂と地域が連携して進める食育活動事例集」

https://gooddo.jp/magazine/poverty/children_proverty/children_cafeteria/2071/

2. 日本共産党 子どもの貧困 2021総選挙 分野別政策一覧https://www.jcp.or.jp/web_policy/2021/10/2021s-bunya-015.html

3. 子ども食堂応援企画

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202010_00002.html